

大竹市小中連携教育・小中一貫教育 イメージキャラクター紹介

覚えてね!



マロンちゃん(中3)

生徒会副会長で、優しくてしっかり者です。笑顔が素敵で小学生女子の憧れの存在です。



鯉太郎くん(中1)

バスケットボール部です。元気でユーモアがあり、中1のリーダー的存在です。



さつきちゃん(小5)

明るくて思いやりのある子です。中3のマロンちゃんは憧れのお姉さんです。



たけしくん(小1)

元気な子で、学校生活を毎日楽しく過ごしています。中1の鯉太郎くんは憧れのお兄さんです。



市では、第五次総合計画「わがまちプラン」に基づき、「笑顔・元気・かがやく大竹っ子の育成」を目指しています。今回は、小中連携教育・小中一貫教育に関する疑問にお答えします。

魅力的な学校づくりに向けて 小中連携教育・ 小中一貫教育Q&A

問い合わせ 総務学事課 ☎21-85

Q 学校は、小中連携や小中一貫に向けて現在どんなことをしている？



A 今年度は、各中学校区で、これまでの連携の内容をさらに深める取り組みを推進しています。小学校から中学校へ進学する時に、学習内容や指導方法の変化などを緩やかにするだけでなく、授業づくりでの交流も盛んになっています。例えば、小学校の校内研修会に、中学校の先生が参加したり、中学校の校内研修会に小学校の先生が参加したりしています。小方小学校と小方中学校は、合同研修会や合同協議会を開いて、平成25年4月の開校に向けて準備を進めています。

また、市教育委員会では、総務学事課と市内の先生でつくるプロジェクト委員会で「小中一貫教育の中身」について協議したり、小中一貫教育研修会を行ったりしています。

Q 連携教育と一貫教育はどう違う？



A 連携教育は、小学校と中学校が、子どもたちの様子や学校の取り組みについて情報交換し、共通の課題などには、一緒に取り組んでいきます。小学校と中学校は、それぞれの教育目標を定めて教育活動を進めますが、課題などに一緒に取り組むことにより、小学校と中学校の理解が深まります。

一貫教育は、義務教育9年間で、小学校の先生と中学校の先生と一緒に子どもたちを育てるものです。一つの学校ですから、教育目標も教育活動も同じです。小学校6年、中学校3年の修業年限を弾力的に捉えて、子どもたちの発達段階に応じた教育を目指します。

Q 小中一貫教育で子どもの学力はあがる？



A 子どもの学力は、いろいろな要因が絡み合っ上って行くものです。学校は、子どもたちに「わかる・できる授業」を行う義務があるので、先生たちの授業力アップのための研修に、今後も力を入れていきます。

また、学力向上には、学習環境や人間関係も影響します。授業だけでなく、学習環境を整えることや、子どもたち同士、先生との人間関係づくりにも力を入れていきます。

Q 小学生が中学生にいじめられるなどの心配は？



A これまで一貫教育に取り組んだ学校からは、小学生と中学生と一緒に過ごすことでのプラス面が報告されています。子どもたちの成長には、横のつながりだけでなく、縦のつながりも必要です。子どもたちは、成長するにつれ、「人の役に立ちたい」という欲求を持ちます。中学生にとって、小学生から頼られ、小学生の役に立てることは、喜びであり、自分の自信にもなります。

一方、小学生にとっては、自分たちを守り、丁寧に対応してくれる人がいることは、安心感と満足感が得られます。これも、人間の欲求にかなっています。お互いの存在が、人間的な欲求を満たし、お互いの成長を促進します。もちろん、いじめなどの生徒指導上の諸問題については、これまで通り、学校体制の中でしっかり取り組んでいきます。